

## 甲斐市教育委員会第6回定例会議事録

- 1 日 時 平成27年9月25日(金)
- 2 場 所 甲斐市役所 新館2階 教育委員会会議室
- 3 開 会 午後1時30分
- 4 出席者 【教育長】勝村秀彦教育長  
【委員】柳本博美職務代理、清水學委員、長田明美委員  
【説明員】奥野経雄教育部長、長田隆教育総務課長  
横森貴志学校教育課長、保坂江里生涯学習文化課長  
望月映樹スポーツ振興課長、剣持豊彦図書館長  
坂本公彦学校教育指導監、日本修学事係長  
大寫正之文化財係長、久保欽一教育総務係長  
平出佳奈教育総務係
- 5 欠席者 新海宏子委員
- 6 傍聴人 なし
- 7 前回議事録の承認 平成27年度 第5回定例会議事録 「承認」
- 8 教育長からの報告
- 9 議 題  
第1号 平成27年度要保護・準要保護、児童生徒の認定について
- 10 その他
  - (1) 平成27年9月甲斐市定例議会教育員会関係一般質問について
  - (2) 平成27年度山梨県学力把握調査の結果について
  - (3) 平成27年度前期市単教員・学校教育支援員巡回指導の報告について
  - (4) 平成27年度創甲斐教育推進事業研究指定校公開研究会予定について
  - (5) 大庭遺跡発掘調査について
  - (6) 第68回山梨県体育祭り結果について
  - (7) 10月の行事予定について
- 11 閉 会 午後3時30分

○開 会  
事務局

開会を宣する。

○あいさつ  
教育長

改めましてこんにちは。足元の悪いところ、ご参会いただきまして有難うございます。稲刈りも最盛期の時期を迎えておりますが、例年より早めに朝晩が涼しくなっております、昨日、今日は雨のために一段と涼しく感じますが、また明日以降は、日中の温度差が大きいですので、体調にはご留意をお願いします。

先月、8月30日には、東海地震警戒宣言を想定した総合防災訓練がございました。あいにくの雨の中でしたが、早朝からの避難訓練や各種の訓練に、市民の皆さん約13,500人の参加を得まして、真剣に取り組んでいただきました。それぞれ、ご参加をいただきまして有難うございました。お疲れ様でした。

今年は、指定避難場所の一つであります玉幡中学校では、避難所の開設訓練が行われましたが、市内の各訓練会場でも、職員からお話をさせていただくなど、減災という観点での「備え」や、いざという時に慌てない「心の準備」と、ライフラインの停止に備えた「物資の準備」の2つの準備をお願いしたところであります。

東日本大震災では、人命や家屋、夢や目標、全ての面が破壊されたと言われておりますけれども、既に4年半経ちまして、震災の記憶が薄れつつある一方で、先般、台風18号の影響によりまして、茨城、栃木、宮城の3県を中心とした記録的な豪雨による甚大な被害が発生いたしました。

人命第一で救助活動をした自衛隊や消防・警察などの映像を何度も見ましたが、特に、鬼怒川の堤防決壊による被害は広範囲に及びまして、東日本大震災の津波を彷彿させるような映像もありました。

被災者の支援や早期の復旧を祈るところではありますが、自然の力の前では、いかに人間の力は小さいかを改めて感じたところでもあります。

東日本大震災から生まれた避難3原則の一つに「率先避難者たれ」という言葉があります。「人の命も気になるけれど、先ずは自分の命

を守り抜くことが大切である」ということですが、こうした災害を教訓に、子どもたちの思考力・判断力を高められるようにしていればとも、考えるところであります。

さて、平成27年度も、早くも9月が終わろうとしておりまして、既に半年が経つところではありますが、おかげをもちまして、色々な事務事業が概ね計画どおり推移してきております。

各学校も2学期がスタートしております。学期の始めに際して、学校が辛くなったり、くじけそうな児童生徒はいないかなど、色々心配もしますが、中学校では学園祭が終わり、ほとんどの小学校がこれから運動会を控えていまして、順調に学校生活・諸行事が行われていまして、大変ありがたく思っております。

間もなく新年度の予算編成に向けた作業に着手したり、管理職の昇任受験、年度末の教職員人事などに向けての動きが始まりますが、いずれも、できるだけ良い結果につながるよう、色々な面でお力添えをいただけるよう、引き続いてのご指導をお願いしたいと思います。

長くなりました。以上ですが、今月もよろしくお願いいいたします。

## ○教育長報告

### 教育長

それでは、9月の諸報告をさせていただきます。1ページをご参照いただきたいと思います。主なものについてご報告申し上げます。

まず、2日の午後には、県庁の防災新館で人事評価制度の研修がありました。地方公務員法等の改正によりまして、来年度から山梨県の教職員にも人事評価制度が導入されることになっております。

能力評価・業績評価・意欲評価の3項目の評価で、給与や任用など人事管理の基礎資料とされるものでありますが、本年度は、その試行期間ということで、県でも試行錯誤しておりますが、この日は、学校ごとに行う絶対評価に対しての、教育委員会が行う相対評価の方法などについて説明がありました。

次に、5日の午後には、甲斐市文化協会主催の文化講演会が開催され、テレビ時代劇の「水戸黄門」に30年以上レギュラーで出演していた歌手で俳優の高橋元太郎さんを講師として招かれましたが、会場の敷島総合文化会館の大ホールは、ほぼ満席でありました。

『うっかり八兵衛の人生ドラマ「人生は出逢い・ふれあい・ささえ合

い』と題した講演で、自らの人生に触れながら豊かな経験に基づいたお話や、3曲ほど懐かしい歌も交えまして、笑いあり感動ありの内容で、多くの人が引き込まれた時間でありました。

7日には、市議会の9月定例会が開会され、報告案件1件、条例改正や補正予算など一般議案8件、決算に関する認定案件12件、合計21案件が提案されました。これらの案件につきましては、各常任委員会での審議を経まして、15日の本会議で可決されております。

なお、16日から本日まで、決算審査特別委員会が開かれておりまして、29日の本会議で26年度の決算が承認されて閉会される見込みであります。また、一般質問は、議会冒頭の8日、9日に行われました。教育委員会に関するものにつきまして、後ほど部長の方からご報告いたします。

10日の夜になりますが、7月の定例教育委員会でご説明いたしました「じんじん」という映画のスローシネマ方式による上映会につきまして、改めて市内各種団体等にご賛同をお願いする中で、実行委員会の設立が叶いまして、12月6日に予定する上映会に向けて動き出したところであります。

12日の午後には、小瀬スポーツ公園の武道館で第68回目となる山梨県体育祭りの開会式が開催され、県内市町村の関係者が集結しまして、昨年より好成績をと、それぞれ意気込んでおりました。

今年の甲斐市勢の結果は、後ほど担当課長から報告をいただきますが、前年度の順位を何とかキープできまして、総合第3位と健闘いただきました。

23日には、第29回大弐学問祭りが行われ、好天に恵まれた中、大人神輿2基と子ども神輿3基の渡御、また、山縣大弐に扮する仮装行列などのイベントがあり、山縣神社周辺は多くの人で賑わいました。

また、祭りが終了した後には、北部公民館を会場に、教育委員の皆様方にもご出席いただく中で、山縣大弐書道展の表彰式が行われました。お疲れ様でした。

24日、昨日になりますが、合併以前から学校間交流を行っておりますオーストラリア・タラマラハイスクール友好交流団の一行18名(生徒15人・随行3人)が甲斐市を訪れておりまして、10月4日までの日程で滞在いたします。

昨日は、市役所に表敬訪問をいただいた後、歓迎レセプションが行われましたが、滞在期間中は、ホームステイをしながら、今回の当番校である竜王北中学校で一緒に授業を受けるなど学校生活を一緒に体験したり、市内外の名所・旧跡やリニア実験線などを見学してもらい、甲斐市や山梨県の文化を肌で感じていただくこととしております。

明後日27日ではありますが、市内外から柔道のスポーツ少年団やクラブが参加し、甲斐北ライオンズクラブ旗争奪柔道大会が開催されますので、激励に参る予定であります。

以上、9月の諸報告とさせていただきます。ありがとうございました。

教育長

議題の審議に入ります前に、この議題「平成27年度要保護・準要保護、児童生徒の認定について」は、個人情報に関する事項が含まれます。したがって、甲斐市教育委員会会議規則第15条の規程により、この議題を非公開とすることについてお諮りします。非公開とすることにご異議はございませんか。

一 同

異議なし。

○議 題

第1号

平成27年度要保護・準要保護、児童生徒の認定について  
【非公開】

教育長

非公開とした議題「平成27年度要保護・準要保護、児童生徒の認定について」の審議が終わりましたので、これより公開とします。

○その他

(1) 平成27年9月甲斐市定例議会教育員会関係一般質問について

事務局

(別冊資料の説明)

教育長

質問、ご意見はございますか。

教育長

中部公民館について報告させていただきます。

昭和40年代後半の建物で3年ほど前に耐震調査をしたところ、いずれ建て替えをするということになったのですが、社会教育施設が国の補助金が一切ないということで、単独で、よくても合併特例債を借り

て建て直すというかたちです。先送りもできないということで市長が動いていただきまして中部公民館は中部公園の中にあるので、公園自体の再整備と併せて公園の中の施設として建て直す方向で国交省の補助金がつきそうということで動き出しております。

公民館という名前が使えなくなるということですが、地域から見れば同じ使い方ができるので抵抗はないと思います。早ければ、来年の予算で取り壊し、再来年には建て替えができるかなというところですので具体的になりましたらご報告をさせていただきたいと思います。

委員 使用条例は今までとは違うということですか。

教育長 違います。

事務局 仮称ですが、「セミナーハウス」というかたちで今までの利用団体の方も使えますが、公園施設なので一般の市外の方も使えます。

委員 身近に感じられる名称があればいいですね。

事務局 利用については、誰を規制するといったことはないのです大丈夫だと思います。

教育長 ほかに質問、ご意見はございますか。なければよろしいでしょうか。

一同 異議なし。

(2) 平成27年度山梨県学力把握調査の結果について

事務局 (別冊資料の説明)

教育長 質問、ご意見はございますか。

委員 各学校の資料を持っていると思いますが、中学2年生は過去においては小学5年生の時に実施しているわけですが、その時と比較をした分析はしていますか。

事務局 そこまでの分析は現在しておりません。昨年と今年、いわゆる中学2年生で県の学力調査、中学3年生で全国学力調査を受けているのでそういった比較はできます。

委員 全国の学力調査の結果を受けて、授業改善を図ろうという学校やIT関係の取り組みをしている学校で効果的な結果が出ているのかということも報告してもらえると分かりやすいなと思いました。

事務局 分母が大きくなればなるほど課題が薄まって見えてしまうということもありまして、1人ひとりの子どもたちにとってどのような課題があるのかというところを各学校が的確にとらえるということが、県

や全国の学力調査の対策かなと思いますので、委員さんにお話しただいたところを今後の分析に活かしていきたいと思います。

委員 静岡県は急に成績を上げたという話がありましたが、学校のランク付けをするというようなことが学校や校長に影響を与えて、力を入れるようになったのかなと思いました。

事務局 学力把握調査の問題傾向を見て対策をとることはできるのですが、そこに偏ったかたちで教育を進めていいのか議論をしている最中です。傾向と対策に合わせたかたちの中で子どもたちに学習をさせれば、短期間で成績は上がる傾向にありますが、全体的な対策を練るにあたって本当の教育とは何かということで議論をしているところです。

委員 教育委員会で議論していることが、現場の先生方にどれだけ届いているかということが大事だと思います。

ひとつ例を挙げると、朝の学習ということで一斉読書をしている学校の取り組みが国語力の部分でどう関連しているのか、どう変わってきているのかという成果や見直しの分析結果を教育委員会が学校現場へ示せば教育委員会の気持ちも現場へ伝わるのではないかと思います。

事務局 感想ですが、昨年課題になった無回答率の高さに改善が見られたというところがすごく嬉しく思いました。もちろん正解を出して得点を上げることも必要ですが、その前の段階としてあきらめずに取り組む、何か答えを出そうと努力して記入するという姿勢に改善が見られたということは現場の先生方の努力の結果だと思います。

教育長 質問を埋めることも大きな成果かなと思います。また機会を作って校長先生方と議論する時間も必要だと思いますし、他県の状況で参考になるものがあれば収集していただければと思います。

ほかに質問、ご意見はございますか。なければよろしいでしょうか。

一同 異議なし。

(3) 平成27年度前期市単教員・学校教育支援員巡回指導の報告について

事務局 (別冊資料の説明)

教育長 質問、ご意見はございますか。

委員 2人でこれだけの人数と面談をされたということは大変だったと思います。本当にご苦労様です。

支援員の継続される年数は最大5年ですか。探すのに苦労されているということですか。

事務局 その学校への継続年数が最大5年ということで、配置換えで他の学校へ移ることもありますので、継続するということでは長くお勤めしていただいている先生方も多いわけですが、昨年度末の話を伺いますと、人を探すという面では難しいところがありまして県の期間採用や臨時採用が先に決まってしまうので苦労されることが多いようです。

委員 長く経験をされる先生方は、何年もいたいという気持ちにはならないのでしょうか。

事務局 希望としては、そういった先生方が多いのではないかと思います。

委員 私が感じることはあるのですが、それは保護者への理解が大切だということ。保護者への対応によって子どもの状況を早期発見、早期支援するという事に結びつくと感じているわけですが、親というのは自分の子どもは成長とともに変わって健康な子どもになるんだという考えをもつのが自然だと思います。また、特別な子どもだというレッテルをつけられることに対しては大きな問題が出てくると思います。

今はインクルーシブ教育という時代になり、どんな子どもも小中学校へ入れたいという気持ちがありますよね。その点をどのように対応するのか親と早期に関係を持つことが必要だろうと思います。そういう意味で言えば学校だけの段階ではなくて、保育園等と連携した中で子どもを見ていく姿勢が必要ではないかと思います。

委員 目に見えて支援をしなければならぬ子どものほかにも、健常の子どもの中にも心を病んでいたりする子どももいて、そういった子への支援も施していかなければならないと思います。置き去りにされている子どももいるのではないかと心配する部分があります。学校においては、支援員は即戦力になると思いますが、支援員を育てながら、子どもたちも社会性を身につけていろいろな人たちと仲良く理解をしながら活動していく社会を目指す学級となっていく、そういったことを考えながら支援員の派遣を考えてもらおうとありがたいと思います。

事務局 健常者の子どもが病んでいるということもあると思いますが、現実的な話をすると学級崩壊させないためには支援員の先生方をつけざるをえないことがほとんどです。学校ではもっと欲しいという声があり



ます。ただし、市で1億円以上支援員に予算をつけています。本来であれば県費職員としてつけていただかなければならないものを県費の方では職員がつかないために市の方で面倒を見ているというのが現実です。ですので、県の要望にもインクルーシブの関係に対しての厚い加配がないかお願いしている状況ですが、現実的にはマンツーマンでつかざるを得ない状況です。

教育長

インクルーシブという制度ができて障がいを持った子どもが地元の小中学校に就学することが増える一方ですが、県も事実上手助けはしてくれない、市でも全体の財政的な締め付けがあるのでこれ以上人を増やすのは大変難しい中ですが、できるだけ確保をする努力はしていきたいという方向で引き続きお願いしたいと思います。

ほかに質問、ご意見はございますか。なければよろしいでしょうか。

一 同

異議なし。

(4) 平成27年度創甲斐教育推進事業研究指定校公開研究会予定について

事務局

(別冊資料の説明)

事務局

双葉中は まだ指定校になっているのですか。

事務局

県の指定は本年度までです。今年から来年までが市の指定となります。

教育長

質問、ご意見はございますか。なければよろしいでしょうか。

一 同

異議なし。

(5) 大庭遺跡発掘調査について

事務局

(別冊資料の説明)

事務局

ほとんど風化してしまったということですね。

事務局

1814年に書かれた甲斐国志にはこの辺に石室があったという記述はあります。石室は露出した状態だったと思いますが、地元の80代、90代の方に聞いてみたところ石室を見たことがないということで、江戸末、明治の頃には解体されていたんだらうと想定しています。

教育長

質問、ご意見はございますか。なければよろしいでしょうか。

一 同

異議なし。

(6) 第68回山梨県体育祭り結果について

事務局 (資料説明)

教育長 質問、ご意見はございますか。なければよろしいでしょうか。

一同 異議なし。

(7) 10月の行事予定について

事務局 (資料説明)

教育長 追加等はございますか。なければよろしいでしょうか。

一同 異議なし。

○閉 会

教育長 本日、本定例会に付議された議案の審議を全て終了したので本定例会の閉会を宣する。

閉会時間 午後3時30分